

# 議 会 軽 井 沢 だより

No.151

令和8年

5・6月

会 議

## 中部小学校運動会

～みんなで紡いだ  
大玉送り～



P2

補正予算

P15

西部小で出前授業

P3

委員会レポート

P16

政務活動費

P4～P13

一般質問

P17

議決結果

P14

議会とタウンミーティング

# 正算 補予

## 成沢区に

### 防災備蓄倉庫等を整備

180万円

コミュニケーション助成金（宝くじ収益活用）により、防災備品（防災倉庫、発電機、LED投光器、救助用工具など）を購入し、自主防災組織で活用します。

**問** 防災備品は、既存の更新か、新規整備か。

**答** 新規整備であり、成沢区の自主防災組織で活用される。

## 自動運転実証運行

### 9月から始まる

8400万円

国の補助金5300万円を活用し、残額3100万円を町・JR

東日本・西武ホールディングスの3者で均等負担します。実施期間は9月から12月です。

**問** 自動運転バス実証運行は、観光客の二次交通と町民の移動支援のどちらを主な目的としているのか。

**答** しなの鉄道の本数が少ない時間帯の交通空白を解消する目的と、国道146号線（通称千ヶ滝通り）の渋滞対策の目的があり、観光客の利便性向上と町民の移動支援のどちらも目指す。

**問** 大阪万博で中国製電気自動車の車両トラブルがあった。今回の車両は問題ないか。

**答** 大阪万博とは異なる車両と確認。

**問** レベル4は無人運転だが、そのレベルに達するのは難しいのでは。

**答** 運転手の運転支援が必要なレベル2で運



必要に応じ運転手が対応します

行する。今後レベル4を目指していきたい。

## 町営住宅空室に 浴槽追加設置

1960万円

町営住宅は、6年度より浴槽のない空室に、費用の一部を家賃に上乗せしています。また、段差解消のためユニットバスを設置しています。

**問** 町営住宅の空室に浴槽を設置することになっていないが、補正予

算では何戸を予定しているのか。

**答** 全部で7戸を予定している。

**問** 現在の進捗率は。

**答** 割合は出していない。今まで設置した戸数は7戸で、今年度は9戸の設置を予定している。残りの112戸は町での設置ではなく以前からの入居者が設置している。現在、入居住宅で浴槽を設置していない世帯はない。

## 新庁舎

財政シミュレーションは

100万円

**問** 新庁舎における財政推計検証・リスク分析業務委託の内容と、委託先の専門家は。

**答** 財政シミュレーションは、今年1月から3月にかけて町長自ら住民に説明し、概ね理解を得られたと考えている。ただし、その

シミュレーションの客観性や妥当性を確認するため、また今後のシミュレーションも含めて、公認会計士に委託したい。

## 津堅屋保存修理工事 入札者おらず

2200万円減額

**問** 今後応札していたかどうかの方針は。

**答** 最終的には請負人選定委員会での決定となるが、入札事務の所管課としては地域要件を見直した上で近いうちに再度一般競争入札を実施したい。

## 倉賀橋 供用開始へ

式典費用

130万円

**問** 倉賀橋の供用開始式典を町が行うが、県の整備事業



道幅が広くなり渋滞緩和が期待される

であるのになぜか。

**答** 県道の整備ではあるが式典は地元自治体が行うことが慣例で、今回は町が行う判断をした。

**問** 供用開始はいつ頃か。

**答** 倉賀橋の架け替えを含む県道借宿小諸線の部分供用を9月末に開始したいとの報告があった。旧道を含む全面開通はまだ先になるが、今回は旧道のスムーズな工事実施のために新設した道路の部分供用を開始する。

委員会レポート  
**総務**  
常任委員会

**町道の廃止**

民間からの払い下げ要望を受け、町道を廃止する議案が上程されました。

**問** 町道の廃止理由は道路機能喪失、民間からの払い下げ要望のことだったが、実際には一部が使用されている。議案説明だけを聞くと町は道路の全てが機能を喪失しているという認識にも思える。使用している道路の全てが民有地になつては困る。議案説明が分かり難い。

**答** 土地の一体的な利用を図りたいという近接地権者から道路用地



道路機能喪失と説明のあった町道の一部。  
農繁期は農家が毎日使用している。

の払い下げの要望があった。払い下げののは一部で、他は認定外道路、公衆用道路として引き続き町が管理していく。今後議案説明は丁寧に行いたい。利害関係者との協議が重要である中で、業者には地権者への丁寧な説明を求めている。町も必要に応じて説明したい。

**問** 近接地権者への丁寧な説明が重要とのことだが、業者から話を聴き、同意書に署名した地権者は、工事の説明だと思つて署名している。町道の廃止については書類を別立てにするなどの考えは。

**答** 利害関係者からの承諾をいただくことは重要だ。これまでの様式の見直しを行いたい。

委員会レポート  
**庁舎建設  
周辺整備**  
特別委員会

**物価上昇を踏まえた  
今後の対応は**

町から物価上昇に関する情報共有と今後の対応方針、庁舎見直しを検討する有志からの要望書に係る対応について説明があり、協議を行いました。

**問** 総事業費が123億9千万円となつているが、5%の物価上昇や他の情勢を鑑みると町として現時点でどの程度の見解か。

**答** 5%や10%、違う指標では18%などあるので、情勢を見ながら考えるため現時点では答えられない。

**問** それならば総額に

5〜18%の数字で情報共有すべきでは。鎌倉市では総工費約150億円が物価上昇で倍になつて行政が中止した事例もあるかどうか。

**答** 鎌倉市の事例は当然把握している。様々な金額を出し過ぎてはいけないと考え元の金額のみを出している。

**問** 入札が成立した事例をどのように参考にするのか。

**答** 自治体によって事情が違つので、例えば

総事業費の内訳(機能・仕様の変更なし)

令和9年4月1日見込

| 基本設計(R8.3)     |         |
|----------------|---------|
| 建設費            | 77.5億円  |
| 外構工事費          | 14.5億円  |
| 解体費            | 4.8億円   |
| 備品購入費・システム移転費  | 6.6億円   |
| 設計費・調査費・用地取得費等 | 20.5億円  |
| 合 計            | 123.9億円 |

従来の物価上昇指数に基づいた場合、1年後の発注時期には、少なくとも5%の上昇を想定する必要がある。

議会からは「建設費だけでなく、他の費用も物価上昇するのでは」と指摘あり(出典:町提供資料)

入札のやり方や他にも参考にできる所を取り入れたい。

**問** 実施設計にはこの状況が反映されているのか。

**答** 見直せる所は物価上昇を勘案しながら進めている。

**問** 金額の上昇を踏まえ町民説明会を行つていく考えは。

**答** 事業費は大きく大切なところなので、必要に応じて設けたい。

# 一般質問



～町を支える住民活動まるわかり～  
(ちいき活動みほん市のひとコマ)

1日目 6月3日(水)

## 一般質問

横須賀 桃子 (5ページ)

- AIが答えを出す時代に学校は何を教え、「考える力」をどう育てるのかについて

小山 裕嗣 (6ページ)

- 不登校という言葉をどのように表現するか
- フリースクールを助成する考えは
- インフルによるオンライン授業の対応は

利根川 泰三 (7ページ)

- 軽井沢町の受動喫煙防止等に係る取り組みについて
- 自転車の青切符制度導入に伴う聞き取り困難症の方のイヤホン装着について

眞島 聡子 (8ページ)

- 脱毛症等の方もアピアランスケア助成事業の対象に
- 訪問理美容サービスの利用助成制度の創設を

金山 のぞみ (9ページ)

- 障がい特性に応じた手引きを作成する考えは
- ペットとの避難体制整備は

一般質問は一问一答方式で1時間以内となっています。

内容は要約して掲載しています。  
一般質問の様子は議会中継サイトや会議録検索システムからご覧いただけます。

2日目 6月4日(木)

## 一般質問

福本 修 (10ページ)

- 歩行困難な高齢者には乗降ポイントが極めて重要だが
- 滞在型貸農園やらないの

中澤 睦夫 (11ページ)

- 国の学校給食支援金を活用し学用品補助をできないか

押金 洋仁 (12ページ)

- 埋もれた資源を生かした農法による循環型社会の構築について
- フレイル予防と住民参加型の健康づくりの推進について

小林 天馬 (13ページ)

- 軽井沢の歴史・文化継承と軽井沢学の発展について
- 地域で暮らし続ける若者を支える結婚支援・奨学金返済支援について



軽井沢町議会 🔍 検索



よこすか ももこ  
**横須賀 桃子** 議員

## 子どもの年齢に応じた AI利用のルールづくりを

### こども教育課長

発達段階に応じた内容での策定を進めていきたい

**問** 現在、AI（人工知能）が文章や画像を自動で作成できるようになり、子ども達の学習環境にも大きな変化をもたらしています。

**こども教育課長** 町立小・中学校における授業内での利用状況は把握している。一方で、家庭での私的な利用状況は把握していない。今後は生成AI利用の定義や把握方法を検討し、年度内に調査したいと考えている。

**問** ディープフェイクによるトラブルやAIチャットボットへの感情的な依存など、AI時代特有のリスクについて、現在どのような教育を行っているか。

一口メモ



AI時代にこそ必要な「考える教育」を

**こども教育課長** AI特有のリスクに焦点を当てた体系的な教育は、現時点では十分とはいえない。今後は文部科学省の示すガイドラインや、先行自治体の取り組みを参考に情報モラル教育の充実、生成AIに関するリスクや倫理的課題についても指導を行う。

**問** 文部科学省の基準は最低限で、地域の実情に応じた方針は各自自治体に委ねられている。多様な文化的背景を持つ子どもが学ぶ当町では、その特性を踏まえた独自のAI教育ビジョンを策定する必要があるのではないか。

**こども教育課長** 当町の特性を踏まえたAI活用指針を、今年度中に策定する予定である。

**問** 理解度は発達段階によって異なるため、年齢に応じたガイドラインを策定すべきではないか。

**こども教育課長** 詳細はまだ決まっていないが、発達段階に応じた内容となるよう配慮しながら、教員の意見も聞きつつルールづくりを進めていきたい。

# 不登校という言葉を どのように表現するか

## こども教育課長

言葉の持つイメージを考慮し、言葉遣いの転換を図っている



こやま ひろつく  
小山 裕嗣 議員

**問** 昨年3月の総合教育会議の中で、町長から不登校という言葉を使うのはどうかと思っているという発言があったが、これは今も変わらないか。

**町長** 現在も変わっていない。全国的に標準語になっていく不登校という言葉に対しては悪いイメージがあると認識しており、町としても不登校という言葉が持つ否定的なニュアンスに十分留意し、表現を変更すべきだと考えている。

**問** 町長からの提案を受けて、教育委員会は不登校という言葉をどのように表現しようとしているのか。

**こども教育課長** 町独自の教育施策においては、言葉の持つイメージを考慮し、言葉遣いの転換を図っている。現在、町では対外的に表現する場においては、

様々な理由により学校へ通えない、または通いにくい児童・生徒という言葉を用いて、児童・生徒の多様性や本人の選択を前向きに捉える言い回しを意識的に使用している。

## フリースクールを 助成する考えは

**問** 誰一人取り残されない環境を作っていくためにもフリースクールへの経済的支援は必要不可欠と考えるが、町の考えは。

**こども教育課長** 詳細な調査の結果、経済的な理由で学びの機会が奪われている児童・生徒がいる場合は、町として何らかの経済的支援を検討していきたい。

## オンラインによる 授業の対応は

**問** 一定の基準を設け

てオンライン授業を活用するガイドラインを作成する考えは。

**こども教育課長** 昨年度は十分な統一が図れなかったため、ガイドラインを作成し、どの学校・学級においても同様の対応が取れるようにしたい。

【核心的メッセージ】  
不登校のイメージ、変えてみませんか？

## 不登校のイメージ転換

# Uni Path

## ユニパス

【定義】  
一人ひとりの道  
unique = 一人ひとりの  
path = 道  
すべての子どもたちに通じる、  
一人ひとりを尊重した言葉です。

【目的】  
学びの場の多様化と、社会への認知拡大

群馬県では、不登校という表現を「ユニパス」へと改めた



とねがわ たいぞう  
利根川 泰三 議員

## 歩きたばこ禁止で ポイ捨ても減らせるのでは

### 保健福祉課長

町としての方針を強く推進するため、関係課と連携しながら理念条例としての制定を検討してまいりたい



「交通標語」にも使われる空気のきれいな軽井沢

町より、軽井沢フードアソシエーションに対し、受動喫煙防止等に係る取組についての協力要請がありました。  
**問** 現在の駅における分煙の現状は。表記はどのようにされているのか。

**保健福祉課長** 軽井沢駅の外に喫煙所が2カ所・新幹線乗降ホーム内にも2カ所設けられている。また、中軽井沢駅は外に1カ所設置しており、分煙措置が

講じられている。喫煙所の位置を明示する案内板や標識による措置も取られている。  
**問** 今後、公園や町公共施設での分煙計画はあるのか。

**保健福祉課長** 将来的な公共施設での分煙計画は、新たな施設にいつでも方針に沿って整備を進める。  
**問** 歩きたばこの全面禁止により、ポイ捨ても減らす効果があると考えているか。

**保健福祉課長** 公共空間における相互配慮、他者への危険防止という考えを整理し、町としての方針を強く推進するため、関係課と連携しながら理念条例としての制定を検討してまいりたい。

### 聞き取り困難症の方のイヤホン装着は

**問** 聞き取り困難症の方にとって、イヤホン型の機器は安全確保のための補助的機器である。自転車の青切符制度導入により不安の声が増える。現況の認識は。  
**保健福祉課長** 聞き取り困難症等でイヤホン型補聴器が必要であることを、ヘルプカード等を示し説明できれば違反にはならないと確認している。  
**問** 警察官が勘違いしないために、見て分かりやすいようなものを町が独自に用意する予定はあるか。  
**保健福祉課長** 既にヘルプマーク、ヘルプカードや耳マークが一定程度周知されているので、今後も既存ツールを活用していただきたい。

# 脱毛症等の方もアピアランスケア 助成事業の対象に

## 保健福祉課長

助成事業制度の拡充を検討する



ましまさとこ 眞島 聡子 議員

町は、がん治療に伴う外見の変化に対し、医療用ウィッグ等の医療用補整具の購入費を助成するアピアランスケア助成事業を行っております。外見の変化による不安を和らげ、その人らしい生活を支え、社会参加の後押しとなっています。

一口メモ

**問** 円形脱毛症や火傷のためウィッグを利用している方がいる。外見の変化による苦痛は、原因にかかわらず共通であり一般的にも治療は長期にわたる。アピアランスケア助成事業の対象にすべきでは。

**保健福祉課長** 外見の変化による心理的・経済的負担は重大な問題で、支援の必要性を認識している。がん患者以外の脱毛症や火傷、けが等で髪の毛を失った方へ、助成事業制度拡充を検討する。

**問** 円形脱毛症は病気である。周囲の理解を得るためにも情報共有・提供が必要では。  
**病院事務長** 情報が十分に伝わっておらず受診につながるないケースもある。広報かるいざわや病院ホームページで病気や当院皮膚科の受診の情報を発信する。理解促進と適切な受診につながる情報提供に努める。

### 訪問理美容サービス 利用助成制度の創設を

**問** 1人で外出が難しい介護・障がい施設入通所者や、外出困難な高齢・障がい児者の非課税世帯を対象に助成制度を導入する考えは。  
**保健福祉課長** 今は非課税世帯や障がい児者のみを対象の助成制度は検討していない。身だしなみを整えることが生活意欲向上等に効

## 出張理美容における「来所困難者」の判断基準

理容師法施行令第4条第1号・美容師法施行令第4条第1号に基づく整理（平成28年3月24日課長通知）



### ① 疾病・要介護状態等

疾病、骨折、認知症、障害、寝たきり等の要介護状態にあり、社会通念上、理容所・美容所に来所困難と認められる者



### ② 育児・介護従事者

乳幼児の育児又は重度の要介護者の介護を常時行い、他の援助・サービスの利用が困難で、外出すると家族の安全確保が困難になると認められる者



### 長野県独自規定：保健所長の事前承認が必要な場合

・通所事業所（介護保険法・障害者総合支援法）の通所者  
・警察署の留置者／刑務所・少年院の収容者  
・特別支援学校の通学者

・要介護者等で来店困難な個人宅への訪問  
・災害時の避難所・仮設住宅の避難者  
※ 社会福祉施設入所者・婚礼・演芸出演者は承認不要

※ 上記に該当しない者への出張理美容は理容師法・美容師法違反。各都道府県は条例で追加の対象範囲を定めることが可能。

訪問理美容サービスで広がる笑顔

果があり、引きこもりがちな高齢者の外出意欲につながるかと考え「すこやかお出かけ利用券」の利用範囲拡充を検討する。

**問** 他自治体や介護現場から利用実態を聞き調査研究を行う考えは。  
**保健福祉課長** 町内の介護事業所等の6カ所、障がい施設の3カ所、サービスを行い一定数の利用がある。他自治体も含め研究する。



かなやま  
金山 のぞみ 議員

## 障がい特性に応じた 手引きを作成する考えは

### 保健福祉課長

ハンドブックの作成に向けて準備を進める

**問** 障がい特性に応じた避難支援や避難所生活上の配慮事項などを整理した手引きを作成する考えは。

**保健福祉課長** 現在、避難行動要支援や福祉避難所に関する内容を整理しており、今後、障がいの特性ごとに具体的な配慮事項を記載したハンドブック作成に向けて準備を進める。

**問** 指定避難所の空間環境や設備の実態調査を行う予定は。また、改修や設備更新について検討する考えは。

**総合政策課長** 避難所の実態把握は重要。今後、実態調査を行う。調査結果を踏まえ、必要な修繕工事や設備更新を進める。

**問** 避難所の看板表示や案内表示などについて、点検・更新に合わせて日本語と英語だけではなく、やさしい日本語の併記を広げる考

えはあるか。

**総合政策課長** 避難所看板等は、更新等に合わせ、やさしい日本語やピクトグラム等の導入を順次進める。

### ペットとの避難 体制整備は

**問** 一次避難所の施設管理者への意識調査結果から、その課題を今後の避難所運営体制へ反映するののか。

**総合政策課長** ペットを連れた避難への関心や受入れの必要性は共通認識はあるものの、具体的な運用内容を十分に把握していないことが明らかになった。今後は、課題を体系的に整理した上で、避難所運営マニュアルの改訂や管理者向け研修等、実効性のある運営体制の構築に努める。

**問** 避難所ごとの受入れ体制などを含めたペット同行避難に特化したマニュアルを作成する考えはあるか。

**総合政策課長** まずは環境省の手引きや訓練等での結果を踏まえ、避難所運営マニュアルの中に必要な項目を順次盛り込んでいくことが重要であると考えている。その上で必要性があればペット同行・同伴避難に特化した手引きの作成等も検討する。



やさしい日本語の併記で災害時も誰一人取り残さない

# 歩行困難な高齢者には 乗降ポイントが極めて重要だが

## 住民課長

利用が見込まれない箇所までの設置は適切ではない。  
他制度で補完するなど移動環境の向上を図りたい。



ふくもと おさむ  
福本 修 議員

**問** 本年10月より運行開始予定のAIデマンド交通のシステム事業者が選定されました。

**答** 長く歩くことが困難な高齢者には乗降ポイントの選定は極めて重要だ。全ての町民が最寄りの乗降ポイントまで最大何m歩けば到達できるようにするべきだと考えているか。

**住民課長** 利用見込みがない箇所まで設けることは適切ではない。カバーし切れない部分は他制度で補完したい。

**問** 誰一人取り残さないという意味では、例えばタクシー事業者の都合であと何力所しか乗降ポイントが作れないと言われたからといってニーズを切り捨てず、ゴールを決め必要なものは何としてでも手配するべきだが。

**住民課長** ゴールを決めて頑張る。安全重視で事業を進めたい。

**問** ザーニングを実施する場合、鉄道への乗り継ぎ活用案は。

**住民課長** できる限りバスや鉄道とも連携させたい。

**滞在型貸農園 やらないの**

**問** 重要政策の1つだが、実施時期は。

**観光経済課長** 一旦見直し、滞在型貸農園、いわゆるクラインガルテンを含めた遊休農地活用として既存宿泊施設や町民貸農園も含め、再検討をしたい。

**問** 事実上の撤回にも思えるが、判断に至った理由は。

**観光経済課長** インフラ整備など初期投資が相当かさむことが分かったため。やらないわけではなく多種多様な部分で再検討をしたい。

**問** 政策を打ち出した



交通弱者の自由な移動を目指すAIデマンド交通

時点でインフラにお金がかかることは自明。分かっていたことでお金がかかるからこの見直しは分らない。

**観光経済課長** 需要調査の結果も踏まえた。

**問** 単に予算化せず立ち消えでは町民の信頼は得られないが。

**観光経済課長** 方向転換する場合は理由を明確にし、議会やホームページ等で説明したい。



なかざわ むつお  
**中澤 睦夫 議員**

## 国の学校給食支援金を活用し 学用品補助をできないか

### こども教育課長

事業が継続するか不明である。在学・入学児童も一律に恩恵を受けられる具体策を検討する。

8年4月から、学校給食費の抜本的な負担軽減」を目的として、公立小学校の児童の学校給食に必要な食材料費について、国が地方自治体を支援しています。

**問** 児童1人当たり月5200円を支給する。交付時期、額はどうか。

**こども教育課長** 給食費負担軽減交付金は、国及び県から2分の1ずつ交付される予定。交付時期は不明だが約5540万円を見込む。

**問** 当町は就学援助制度で学用品補助を行なっているが、収入基準で保護者に心理的負担がある。給食費負担軽減交付で余裕が出た財源を、義務教育無償化の観点から学用品の支援に充ててはどうか。

**こども教育課長** 財源の活用方法はさまざまな意見があると思う。国の事業が継続されるか不明である。在学・

入学児童にも一律に恩恵を受けられるよう平等性を考慮しながら具体的方策を検討する。

### 保育園給食も無償化の検討は

**問** 保育園で炊飯器を導入してご飯を炊く計画が歓迎されているが、3歳児以上は月千円の加算となる。近隣では無償化の自治体もある。当町も無償化を検討し

たらどうか。

**こども教育課長** 保育園給食の負担軽減を求める声があることは認識しているが、現状でも食材料費を保護者負担ではまかないきれず町が一部負担している。国制度の変更や保育園、幼稚園間の公平性、子育て世代のニーズ等を踏まえ、完全無償化の在り方について慎重に対応する。

**問** 食育の観点から、町の農家と交流する幼稚園もある。保育園の給食食材を町内産でまかなう考えは。

**こども教育課長** 町のお米の使用は、子どもが地域の農業や食文化に親しむことで有意義と考える。供給の安定性や価格などを勘案し、学校給食での地産地消の取り組みも参考にしながら農産物の使用拡大について研究する。

### 佐久地域の給食費・副食費の状況



給食費の補助が広がっています

# 有機物の町内循環を 行政施策として推進する考えは

## 観光経済課長

施策として検討する意義は大きい



おしがね ようじ  
押金 洋仁 議員

**問** 当町では秋に大量の落ち葉が積もり、住民の排出負担や焼却施設への負荷が課題となっている。落ち葉を廃棄物ではなく資源として堆肥化することで、農業等へ還元するため、有機物の町内循環を行政施策として推進する考えは。例えば集積所を設けることは検討できないか。

**観光経済課長** 堆肥化事業について現段階では実施する考えはないが、有機物の循環を行政施策として検討することは十分に意義がある。集積所についても農業委員会や関係団体の意見を聞きながら調査研究していく。

**問** その候補地として、幹や枝の循環利用に活用されている貯木場を活用できないか。

**観光経済課長** 木を搬入してチップ化し循環させる用途であり、落ち葉の集積場所としては考えていない。

**問** 廃棄されていたものを付加価値として生かした自然農法や農産物を地域ブランドとして位置づけ、農業振興、地域経済の活性化に結びつける取組について町の考えは。町内で既に取り組む民間事業者との連携・支援について町の考えを伺う。

**観光経済課長** ブランド化は環境保全と経済の両立に資するが、混入物の選別・加工や収穫量の安定性に課題があり、県や営農者の意見を聞きながら研究する。町内で取り組む事業者は確認しており、農業委員会と連携し有効活用を見定めていく。



落ち葉を廃棄物から資源へ転換すれば…

**データに基づく健康づくりは**

**問** 軽井沢健診やKDB(国保データベース)を活用したデータに基づく健康づくりの現状と今後を伺う。

**保健福祉課長** 軽井沢健診は信州大学で取りまとめ中で、結果が確定次第施策に反映する。KDBは既に通いの場やいきいき健診等で活用しており、今後はさらにハイリスク層を地区別・性別・年齢別に抽出し施策に反映させる。



こばやし てん ま  
小林 天馬 議員

## 軽井沢の歴史をSNS等の 動画で発信する考えは

### 生涯学習課長

歴史や自然などをテーマとしたデジタルコンテンツを作成し、YouTubeやInstagramを通じた発信について研究したい



軽井沢の歴史や理念を体系的に  
分かりやすく学べます

**問** 町では、大人向けの町勢要覧を基に作成した軽井沢学の副教材「ルイザちゃんのだいぼうけん」を発行しています。軽井沢の歴史や国際親善文化観光都市の理念を体系的に学ぶことができます。

**問** 町内への転入時に軽井沢の歴史を伝えるよう案内する考えは。

**生涯学習課長** 町内への転入時に案内する環境を作る。

**問** 仕事や子育て等で講座など参加が難しい世代に対して、軽井沢

の歴史や文化、成り立ちをSNS等の動画コンテンツで発信する考えは。

**生涯学習課長** 歴史や自然などをテーマとしたデジタルコンテンツを作成し、YouTubeやInstagram等を通じて発信について、ニーズ調査や費用対効果など研究したい。

**問** 時代ごとにショート動画にすればより学びやすいのでは。

**生涯学習課長** 学びの上ではコンテンツは必要。研究したい。

### 若者の結婚。 定住支援を提案

若い世代を取り巻く経済環境は厳しく、結婚や出産、地域定着への不安要因となっています。町は長期振興計画で、若い世代が希望を持って結婚・就労できる環境整備を掲げています。

**問** 若者の結婚を取り巻く課題の認識は。

**保健福祉課長** 経済的不安など様々な要因が影響。希望する方が安心して将来設計できる環境づくりが重要。

一口メモ

**問** 新居取得や引っ越し費用を補助する、結婚新生活支援事業を活用する考えは。小諸市は区の加入を条件に補助し、地域の繋がりがづくりに役立てている。

**保健福祉課長** 研究する余地はある。

**問** 県内45自治体以上が実施する奨学金返済支援制度を研究しては。

**観光経済課長** 他自治体も参考にしながら慎重に研究する。



若者が結婚できる環境を  
経済面でも整えることが大事



## 議会とタウンミーティング



# 社会福祉協議会との懇談会



社会常任委員会では、所管事務調査のテーマ「地域包括ケアシステム」に関連し、軽井沢町社会福祉協議会（矢内会長ほか職員の皆さん）との懇談会を開催しました。昨年訪問した焼津市の福祉事業所「株式会社 権兵衛」の永地代表にもご出席いただき、在宅介護の現状や地域の福祉課題、介護人材の確保に向けた取り組みなどについて説明を受け、意見を交換しました。



Q

社協の訪問介護には、どのような現状と課題があるか。

A

社協の訪問介護は、職員数・訪問件数ともに全国平均を上回っている。一方、収益につながりにくい予防的な訪問や通院の付き添いなどの依頼が多いため、収入は全国平均を下回り事業全体で大きな赤字を抱えている。こうした民間事業者が敬遠しがちな支援を担うことで、地域福祉のセーフティーネットとして役割を果たしている。

Q

在宅で介護サービスを利用している方の状況はどうなっているか。

A

町内で要介護・要支援の認定を受けている方は837人で、そのうち519人が自宅で生活している。現場からは、短期入所（ショートステイ）の受け入れ先やリハビリ・デイサービスの不足、買い物や通院などの移動支援の充実、住宅のバリアフリー化、身近な地域での相談体制づくり、利用料の減免制度の拡充などの要望がある。

Q

介護を支える人材の確保について、どのような取り組みが必要か。

A

介護人材は都市部へ集中する傾向が強まり、地方では確保・定着が難しくなっている。人材に長く地域に残ってもらうには、住まいの支援や処遇改善のための町独自の補助など、行政の支援が欠かせない。

その他、外国人人材の受け入れ状況や、医療と介護の連携、AI活用の可能性などについても意見が交わされました。

# 西部小で出前授業を実施

軽井沢町議会では、次世代を担う子どもたちに議会を身近に感じてもらうため、議会活性化特別委員会による出前授業を、軽井沢西部小学校にて実施しました。

### 授業の概要

- 日時：令和8年7月2日(木)
- 対象：6年生(松組・竹組 それぞれ1時間ずつ)
- 講師：議会活性化特別委員会
  - 委員長：小山 裕嗣議員
  - 副委員長：金山 のぞみ議員
  - 委員：小林 天馬議員

当日は、児童の皆さんに親しみを持ってもらえるよう、議員が呼ばれた名前を自己紹介を行い、和やかな雰囲気の中で「社会」の授業がスタートしました。

### 議会の役割と議員の6つの仕事

スライドを用いて、町議会が「町民の代表として意見を町政に生かす場」であることを説明しました。現在15名の議員で構成されていることや、主な仕事として以下の6つを紹介しました。

1. 町の仕事のチェック
2. 条例(町の決まり)の作成・廃止
3. 予算の決定と決算のチェック
4. 課題の話し合いと町への提案
5. 町民の意見を町に伝える
6. 国や県へ町の考えを伝える

### 身近な予算の例：西部小学校の「新校舎」

子どもたちにとって最も身近な例として、「西部小学校東教室棟建設事業」を取り上げました。児童数の増加に対応するため、可動式の壁を持つ新しい校舎を建設すること、そしてそのために多額の予算(税金)が使われたことを説明しました。こうした大きなお金が正しく使われるかを見守るのも、議会の重要な役割です。また、実際の一般質問の動画を視聴し、議員がどのように町を良くするための提案を行っているかを具体的に伝えました。

### 小学生からの提案

議会の仕組みについて説明した後、小学生たちから複数の提案をもらいました。

- ・ 森林を守り、自然を保ちながら建物を建てたらどうか
- ・ もっと公園が欲しい
- ・ ゴミのポイ捨てを減らすにはどうしたらいいか
- ・ 追分宿の道にサイクリングロードが欲しい
- ・ 通学路に廃墟があって危ないので整備してはどうか
- ・ お祭りイベントを増やしたい

これらの質問に対し、町の現状を説明しつつ、どうしたら実現できるか、子どもたちと一緒に考えました。

### 未来のまちづくりに向けて

町議会では、この他にも「中高生対話の場」の開催や、ホームページでの情報発信、本紙「議会だより」の発行などを通じて、若い世代を含む町民の皆さんに開かれた議会づくりを進めています。今回の授業が、6年生の皆さんが自分たちの住む軽井沢の未来を考えるきっかけになれば幸いです。



# 公開します! 全議員の政務活動費

令和7年4月から令和8年3月までの政務活動費として、議員1人につき月額8,300円×12カ月で、**99,600円**が交付されました。

(詳細は、軽井沢町議会ホームページをご覧ください、議会事務局までお問い合わせ下さい。)



令和7年度政務活動費収支報告書

## 令和7年度 政務活動費

交付額を超過した政務活動費は、会派・議員が自己負担しています。(単位:円)

| 会派・議員名 |           | 収入<br>(交付額) | 支 出        |        |            |                  |       |            |            |           | 返還額     |
|--------|-----------|-------------|------------|--------|------------|------------------|-------|------------|------------|-----------|---------|
|        |           | 政務活動費       | 調 査<br>研究費 | 研修費    | 広報・<br>広聴費 | 要請<br>陳情等<br>活動費 | 会議費   | 資 料<br>作成費 | 資 料<br>購入費 | 支出合計      |         |
| 会<br>派 | 公 明 党(2名) | 199,200     |            | 11,000 |            |                  |       |            | 62,746     | 73,746    | 125,454 |
|        | 日本共産党(1名) | 99,600      | 40         |        |            |                  |       |            | 94,608     | 94,648    | 4,952   |
|        | 参 政 党(1名) | 99,600      |            | 11,220 | 14,250     |                  |       |            | 77,053     | 102,523   | 0       |
|        | 会派「考」(4名) | 398,400     |            |        |            |                  |       | 231,000    | 64,770     | 295,770   | 102,630 |
| 議<br>員 | 金山 のぞみ    | 99,600      |            |        |            |                  |       |            | 37,237     | 37,237    | 62,363  |
|        | 小山 裕嗣     | 99,600      | 40,300     | 2,000  |            |                  | 7,000 |            | 61,200     | 110,500   | 0       |
|        | 福本 修      | 99,600      | 55,200     |        | 38,280     |                  |       |            | 11,127     | 104,607   | 0       |
|        | 押金 洋仁     | 99,600      | 12,936     | 3,780  |            |                  |       | 1,890      | 34,200     | 52,806    | 46,794  |
|        | 寺田 和佳子    | 99,600      |            |        | 3,000      | 50,346           |       |            | 120,000    | 173,346   | 0       |
|        | 利根川 泰三    | 99,600      |            |        |            |                  |       |            | 54,000     | 54,000    | 45,600  |
|        | 遠山 隆雄     | 99,600      | 22,000     |        | 11,250     |                  |       |            | 21,908     | 55,158    | 44,442  |
|        | 横須賀 桃子    | 99,600      |            |        | 17,892     |                  |       |            | 84,914     | 102,806   | 0       |
| 合 計    |           | 1,593,600   | 130,476    | 28,000 | 84,672     | 50,346           | 7,000 | 232,890    | 723,763    | 1,257,147 | 432,235 |

## 議員に交付する政務活動費の説明

- 政務活動費用語解説**

● 調査研究費  
会派や議員が行う町の事務・地方行財政等に関する調査研究(視察を含む)及び調査委託に要する経費
- 研修費**  
① 会派や議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む)に要する経費  
② 団体等が開催する研修会(視察を含む)講演会等への会派や議員及び会派や議員が雇用する職員の参加に要する経費
- 広報・広聴費**  
● 会派や議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
- 要請陳情等活動費**  
● 会派や議員が行う要請陳情活動・住民相談等の活動に要する経費
- 会議費**  
① 会派や議員が行う各種会議・住民相談会等に要する経費  
② 団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派や議員の参加に要する経費
- 資料作成費**  
● 会派や議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
- 資料購入費**  
● 会派や議員が行う活動のために必要な図書・資料等の購入や利用等に要する経費
- 事務所費(★)**  
● 事務所の設置及び管理に要する経費
- 事務費(★)**  
● 活動に係わる事務の遂行に要する経費
- 人件費(★)**  
● 活動を補助する職員を雇用する経費  
★ 事務所費、事務費、人件費は令和7年度該当なし

## 5・6月定例会 議決結果をお知らせします

### 全会一致で原案可決された議案等

| 議案番号等  | 議 案 名                                    |
|--------|------------------------------------------|
| 議案第37号 | 軽井沢町手数料徴収条例の一部改正について                     |
| 議案第38号 | 軽井沢町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について              |
| 議案第39号 | 軽井沢町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について               |
| 議案第40号 | 令和8年度町単軽井沢町老人福祉センター等アスベスト除去工事請負契約の締結について |
| 議案第41号 | 令和8年度ゼロ町債町単小型動力ポンプ積載車購入契約の締結について         |
| 議案第42号 | 令和8年度町単中部小学校食器食缶洗浄機購入契約の締結について           |
| 議案第43号 | 令和8年度町単中保育園屋根外壁塗装補修他工事請負契約の締結について        |
| 議案第44号 | 町道の廃止について                                |
| 議案第45号 | 令和8年度軽井沢町一般会計補正予算(第2号)                   |

### 意見の分かれた議案等

| 議案番号等  | 議 案 名                                   |
|--------|-----------------------------------------|
| 議案第36号 | 令和8年度軽井沢町一般会計補正予算(第1号)                  |
| 陳情第7号  | 高額療養費の限度額引き上げの撤回を求める陳情書                 |
| 陳情第12号 | 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書 |

| 議席番号   | 1<br>金山<br>のぞみ | 2<br>小林<br>天馬 | 3<br>小山<br>裕嗣 | 4<br>眞島<br>聡子 | 5<br>福本<br>修 | 6<br>中澤<br>睦夫 | 7<br>押金<br>洋仁 | 8<br>寺田<br>和佳子 | 9<br>利根川<br>泰三 | 10<br>遠山<br>隆雄 | 11<br>横須賀<br>桃子 | 12<br>川島さ<br>ゆり | 13<br>土屋<br>好生 | 14<br>佐藤<br>幹夫 | 15<br>佐藤<br>敏明 | 議決結果         |
|--------|----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 議案第36号 | ○              | ○             | ○             | ○             | ○            | ○             | ○             | ○              | ○              | ○              | 議長              | ○               | ○              | ×              | ×              | 可 決 (13:1)   |
| 陳情第7号  | ×              | ×             | ×             | ×             | ×            | ○             | ×             | ×              | ×              | ×              | ×               | 議長              | ×              | ×              | ×              | 不 採 択 (1:13) |
| 陳情第12号 | ×              | ×             | ×             | ×             | ×            | ○             | ×             | ×              | ×              | ×              | ×               | 議長              | ×              | ×              | ×              | 不 採 択 (1:13) |

(○は賛成、×は反対、議長は採決には加わりません)

### 請願・陳情の お知らせ

9月会議で取り扱う請願・陳情の提出期限は、8月14日(金)です。  
期限後に提出された請願・陳情については、翌定例会(12月)での取り扱いとなりますので、あらかじめご了承ください。

PoliPoli Govをはじめます！



皆さまの声を  
幅広く集めます！



スマホでかんたんに  
投稿できます！

PoliPoli Govとは？

※軽井沢町議会版

1 意見を投稿



テーマごとに、あなたの  
意見やアイデアを投稿できます。

2 共感が集まる



他の人の意見を見たり、  
共感（いいね）できます。

3 議会が活用



いただいた意見は、議会で共有し、  
政策づくりや議会活動に活かします。



若い世代や子育て世代の声も、もっとまちづくりへ。

期間限定！

議会による  
PoliPoli Gov  
全国初導入



公開したら  
議会LINEで  
お知らせします！

友だち登録はこちら！



軽井沢町議会  
LINE 公式アカウント



先日行ったアンケートでは2名の方々よりご回答をいただきました。  
いただいたご意見は参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

＼あなたのご意見をお聞かせください／

議会または議会だよりへのご意見を募集しております。

右記二次元コードよりご意見をお寄せください。

回答期限  
8月末日



## 「第150号 議会だより軽井沢」の内容訂正について

6ページに掲載いたしました記事に誤った記載がありました。正しい内容につきましては、下記のとおりです。  
掲載内容に誤りがありましたこととお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

6ページ5段目の事業の見出し、

誤：「消防士養成講習会を開催」

正：「防災士養成講習会を開催」

委員 委員長  
副委員長  
委員

川島さゆり  
福本 修  
金山のぞみ  
小林 天馬  
小山 裕嗣  
眞島 聡子  
中澤 陸夫  
押金 洋仁  
寺田 佳子

カッコウが盛んに鳴いて  
ます。豆をまく季節を教  
くれるのだと農家さんは  
います。自然は一定の法則  
ります。分らないのは国際  
情勢です。ホルムズ海峡の  
鎖合意の覚書のあと先が見  
えません。ナフサ由来の資材  
不足も今後心配です。円の信  
用低下は止まりません。今回  
の議会上昇は止まりません。今  
の議会だよりにもありますが、  
新庁舎・交流センターの建設  
などの見通しの議論を複雑に  
します。町社会福祉協議会と  
の懇談でも物価高と経営難の  
話がでました。カッコウのよ  
うな「判断と見通し」が持て  
らと思うのは私だけでしょう  
か。（中澤 睦夫）

編集後記

発行／令和8年7月25日  
軽井沢町議会  
長野県北佐久郡軽井沢町  
〒389-0192  
☎ 0267 (45) 8910  
電子メール／  
gikai@town.karuizawa.nagano.jp  
編集／広報広聴常任委員会

軽井沢町議会  
公式ホームページ



印刷／中澤印刷株式会社  
☎ 0268-22-0126



古紙ハルプ配合率80%再生紙を使用  
再生紙を使用しています。  
植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。